

学校通信



喜多見



No.4 令和8年 7月17日

喜多見の学び舎

世田谷区立喜多見中学校

校長 兼平 誠

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp <http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

1学期を振り返り、2学期へつなげる夏休みに

校長 兼平 誠

早いもので、1学期が終了しました。保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今学期の終わりに、生徒たちへ「残心(ざんしん)」という言葉について話をしました。残心とは、ある行動が終わったときに気を緩めるのではなく、最後まで集中し、次に向けた準備を整える心構えのことです。剣道などの武道で使われる言葉ですが、私たちの日常生活にも大切な考え方です。その際、「準備とは次が始まる直前ではなく、その前が終わった瞬間から始まる」という話をしました。授業の振り返りや一日の生活の振り返りと同じように、1学期の終わりは2学期へのスタートでもあります。1学期の成果や課題を振り返り、次の目標につなげることが大切です。

生徒の皆さんは、この1学期、学習や学校行事、部活動、生徒会活動など、それぞれの場面でよく努力してくれました。一人一人が積み重ねてきた経験が、成長につながっていることをうれしく思います。

夏休みには三者面談を実施します。面談ではキャリアパスポートを活用し、生徒一人一人が1学期の振り返りと今後の目標についてスピーチを行います。自分の思いや目標を言葉にすることで、意識がより明確になり、新たな行動への一歩を踏み出す力になります。ぜひ、この機会にご家庭でもお子様の成長や努力を認めながら、将来に向けた目標について話し合っていたいただければと思います。

終業式では「命を大切にすること」についても話をしました。夏休みは学校を離れ、活動範囲が広がります。旅行や部活動、地域での活動など、さまざまな経験ができる貴重な期間です。一方で、交通事故や水の事故、熱中症、自然災害など、普段よりも危険に遭遇する可能性も高くなります。こうした危険から自分自身を守るためには、「自分だけは大丈夫」という気持ちをもたないことが大切です。これは心理学で「正常性バイアス」と呼ばれる考え方ですが、危険を過小評価してしまうことにつながります。安全な行動を心掛け、周囲の状況に気を配りながら行動することが、自分や周りの人の命を守ることににつながります。「油断しない」「最後まで気を抜かない」という姿勢も、まさに残心の心です。学習や部活動だけでなく、安全な生活を送るためにも、大切にしてほしいと願っています。

夏休みは、普段できないことに挑戦したり、自分自身を見つめ直したりする絶好の機会です。1学期の学びを振り返りながら、新たな目標に向けて準備を進めてほしいと思います。そして何より、健康と安全を第一に考え、充実した夏休みを過ごしてください。

2学期の始業式に、ひと回り成長した皆さんと元気に再会できることを、教職員一同楽しみにしています。



7月きたみ人権デーの話(担当:3学年田村)

喜多見中学校では、人権に関する講話を月1回行っています。7月9日(木)の内容について、概要をご紹介します

今日は「災害と人権」について考えてみたいと思います。まず、人権とは何でしょうか。人には、生きる権利や平等に扱われる権利、プライバシーを守られる権利など、さまざまな権利があります。そして、それらは誰もが生まれながらに持っている大切な権利です。

しかし、その人権が脅かされる場面があります。その一つが自然災害です。日本は地震や台風などの自然災害が多い国です。東京でも首都直下地震がいつ起きてもおかしくないと言われています。もし大きな地震が起こり、自宅で暮らせなくなったら、皆さんはどこへ避難するでしょうか。多くの人は学校の体育館や公民館などの避難所で生活することになります。そこには高齢者やけがをしている人、小さな子どもを連れた家族、外国の方など、多くの人が集まり、共同生活を送ることになります。

そのような状況の中で、自分や周りの人の人権を守るためには何ができるでしょうか。避難所での生活は、誰もが不安や苦勞を抱えています。そんなときに大声で騒いだり、「邪魔だな」「早くしてよ」などの心ない言葉を投げかけたりしたらどうでしょうか。相手を傷つけるだけでなく、その人の人権を侵害することにもつながります。だからこそ、困っている人に優しく声をかけたり、手を差し伸べたりすることが守ることにつながるのです。

また、人権を守るためには、さまざまな立場の人がいることを理解する必要があります。例えば、避難所では着替えをする場面があります。十分な仕切りがなければ、プライバシーが守られず、心に大きな負担を与えてしまうことがあります。食事についても同じです。配られたものを誰もが食べられるとは限りません。食物アレルギーのある人や、歯が弱く硬いものを食べられない人もいます。また、放送による連絡があっても、日本語が十分に分からない外国の方や、耳が聞こえにくい方には情報が伝わらないこともあります。相手の立場や事情を想像することが、人権を守るうえでとても大切なのです。

私自身、東日本大震災が発生したときは中学二年生でした。大きく揺れる校舎や悲鳴が上がる教室の様子は、今でも忘れることができません。皆さんの中には当時まだ生まれていなかった人もいます。しかし、これから先も災害は必ず起こります。だからこそ、災害時には命を守ることを第一に考えるとともに、その先にある一人一人の尊厳や人権についても意識してほしいと思います。災害の時だけでなく、普段の学校生活の中でも相手の気持ちや立場を想像し、思いやりをもって行動することが、人権を大切にする第一歩です。今日からまた、みんなでよりよい学校生活を築いていきましょう。

【人権を守るために①】 助け合う「声かけ」や「行動」!



【人権を守るために②】 「知っておくべきこと」がたくさんある!



9月の予定

9月 1日(火) 始業式 河口湖移動教室説明会

避難訓練(引き取り訓練) 職員会議

3日(木) 専門委員会

4日(金) 中央委員会

7日(月) 生徒会朝礼

8日(火) モーニングキャリア

修学旅行・移動教室事前検診(希望者)

9日(水) 職員会議

10日(木) きたみ人権デー

11日(金) 生徒会役員選挙

16日(水) 着こなしを考える日

24日(木) 中間考査

25日(金) 中間考査 英語検定

28日(月)~30日(水) 職場体験学習

29日(火)~10月1日(木) 修学旅行